

■平成25年度第1回伊万里市子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 平成25年10月15日（火）19:00～20:15
- 場 所 市役所 第3会議室
- 出席委員 14人出席
- 事務局 事務局 4人、コンサル1人、WG6人 計11人
- 会議記録（敬称略）

1 開会

進行：川棚課長

2 辞令書交付

市長から各委員（代表して手嶋委員へ交付）

3 あいさつ

- ・市長あいさつ
- ・委員紹介
- ・会長選任 会長 手嶋委員 副会長 西岡委員

4 議題

（1）子ども・子育て支援事業計画について

事務局 説明

（2）アンケート調査について

事務局 説明

（杉原委員）

前回調査はいつ実施したのか。

（事務局）

平成21年2月に実施した。就学前、小学生各1000世帯で、回収率は就学前49%、小学生59%

（梶山委員）

調査票の32問は多く感じるし、回収率が悪くなるのでは。途中のものでも出していいのか。

（事務局）

庁内の策定委員会やWG会議でも同意見があった。当初は現案の1.5倍ほどあったものをここまで圧縮しており、次世代計画策定時の調査とのリンクもあって、このようにしている。

調査票は月末に配布し、11月中旬頃の回収を予定している。

（3）子育てに関する意見交換会

事務局 説明

（西岡委員）

医療費は小学生までについては無料にしてほしい。

(事務局)

現在は就学前は月額1000円までの負担となっており、小中学生は各市町によって制度が違う。国へ同一制度になるように要望している。

(松永委員)

市周辺部において、公民館等で子育てサークルのようなものがあればよい。また、緊急時に子どもを預ける場がない。

4歳から6歳までの保育園・幼稚園時の育て方が重要であり、保護者の支援をしてほしい。小学校ではしつけについてなどの研修会まで踏み込んでやっており、このような研修の場などを通して家庭教育の重要性を説くなどを保育園・幼稚園でやってほしい。

(事務局)

就学前の段階である程度のしつけ等は家庭教育などでやってもらいたい。

緊急時での預かりについては子育て支援センターがあり、私立保育園では一時預かりを実施している。公立は子育て支援センターとは別に南波多保育園で一時預かりを実施している。

(川久保委員)

アンケート調査票は、小学生分については学校で回収すれば回収率が高くなるのではないかと。

学童保育では、発達障害をはじめ知的障害、自閉症等を有する児童も増えているが、児童クラブでの専門的な先生が配置されていない。特に、夏休みなど長期の場合の対応として専門性の高い人材の配置や人材の情報がほしい。

また、市内のどのクラブも1ルームなので、保育上、不便である。また、18時以降の預かりを要望する声もあるが、時間延長が子どもの成長にとってよいのか、指導員の悩みでもある。

(西岡委員)

幼稚園の給食は小学生と一緒にあり、量的な問題がある。牛乳代は6歳児は補助があるが、3歳児はないので高い。

(中島委員)

市内公園には、駐車場、トイレ、遊具がそろった公園が少ない。

夏場は室内で遊べる場がないので、児童館が市の中心部にあるといい。整備できない場合は、市民センターのリハーサル室を開放するなどできないか。

今回、児童手当の現況届が郵送でも可となったが、書類など手続きがわかりにくい。

子育て支援センターを利用させてもらっているが、大変ありがたいと思う。保育園の一時預かりなど、初めてのところは、利用しづらいと感じる。

(西岡委員)

子育て支援センターの利用料金が1時間当たりで支払うので、保育園の一時預かり料金よりも安くなる。支援センターの機能を地域に配置してほしい。同じような役割を保育園でもできないか。

(松永委員)

市周辺部には子育てサークルは少ない。子育てサークルの立ち上げの働きかけをしてほしい。

(中島委員)

現在、子育てサークルの集まりを月2回、立花公民館で行っている。活動している子育てサークルは少ないと思う。11月16日に子育てサークルフェスタを実施するので、これを契機に知ってほしい。

(川久保委員)

主任児童委員はほとんどの方は仕事をもっている。話をしたくても委員の所在すら知らないが、人材はどのように選んでいるのか。

(事務局)

主任児童委員は各地区におり、任期は3年であり、12月が改選時期にあたる。人選は各区長に頼んでおり、区での話し合いで決める。新任は65歳未満。再任は75歳を超えないこととなっているが、ボランティアなので、なかなか後任がない状況である。委員のお知らせ等は広報で周知している。

(川久保委員)

指導員の研修会への参加が伊万里市からは少ない。研修へ参加しやすいようにしてほしい。

(伊東委員)

地域のお年寄りを子育て支援にうまく活用できないか。

(川久保委員)

学童保育で地域に呼びかけ、お年寄りに参加してもらっており、大変重要な力である。お年寄りは出番を待っている。

5 閉会

事務局 次回は4月を予定している。

以上